



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トランスジェニック

コード番号 2342 URL <http://www.transgenic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福永 健司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山本 健一

TEL 092-288-8470

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	306	10.0	△102	—	△102	—	△73	—
27年3月期第1四半期	278	49.1	△98	—	△103	—	△100	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △73百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △105百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△5.28	—
27年3月期第1四半期	△7.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	3,339	2,701	80.7	193.61
27年3月期	3,573	2,777	77.4	198.81

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 2,694百万円 27年3月期 2,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,150	9.8	40	68.8	35	272.5	18	1.0	1.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	13,916,941 株	27年3月期	13,908,641 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,421 株	27年3月期	1,421 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	13,914,881 株	27年3月期1Q	13,622,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
なお、当社は、平成27年4月8日に、新株予約権の行使により、新たに普通株式8,300株を発行しており、業績予想の「1株当たり当期純利益」は当該株式を含めて算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人所得の改善を背景に、国内の設備投資と個人消費が増加し、景気は緩やかながらも回復基調で推移いたしました。

当社グループが属するバイオ関連業界におきましては、人々の健康と豊かな生活の実現に向け、大手企業による米国再生医療企業巨額買収、新薬開発や再生医療への活用に向けた企業と大学の巨額共同研究開始など、単独の研究機関・企業での取組みを超えた動きがありました。

このような環境の中で、当社グループは、ジェノミクス事業においては、本年4月に、遺伝子改変マウス作製受託サービスの作製期間の短縮、さらにコスト低減が図れるゲノム編集技術(CRISPR/Cas9)に関する米国Broad研究所の特許群の非独占実施許諾を取得し、受注強化に取り組みました。また、本年5月には、医化学創薬㈱との間で、抗体医薬シーズに関する共同研究開発契約を締結し、共同で乳がんおよび膵臓がんに対する抗体医薬シーズの開発に着手いたしました。さらに、本年6月には、従来の免疫不全マウスを用いることなく臓器ヒト化マウスを確立する技術の国際特許出願をいたしました。

CRO事業※においては、既存の顧客との取引を拡大・深化させるとともに、新規顧客の開拓に取り組みました。また、本年6月、北海道内のバイオ産業の振興を目的に医療分野の研究開発促進と研究支援分野のビジネス連携を図るため、経済産業省 北海道経済産業局が主導する、大学研究機関と道内企業とのマッチングやコンソーシアム(連携体)の構築を図る取組みに、㈱新薬リサーチセンターはグループ会社の㈱ジェネティックラボとともに参画いたしました。

先端医療事業においては、本年4月に、当社の分子解析センターの事業を連結子会社の㈱ジェネティックラボに譲渡し、経営資源及び営業の一元化による事業運営の効率化に取り組みました。また、同月、医薬品開発のためのバイオマーカー解析を強力にサポートするため、臨床試験支援サービスに特化した「臨床試験部」を創設し、病理診断、分子病理解析(IHC、FISH)など経験と実績に裏打ちされた当社の技術を駆使し、専任担当者が、顧客の要望に迅速に対応できる体制といたしました。

病理診断事業においては、一層の品質向上及び事業効率化に取り組むとともに、豊富な病理診断技術を活かしたサービスの拡充に取り組んでまいりました。特に当第1四半期は、前期から開始した子宮頸がんの予防および早期発見に向けたHPV核酸検出サービスの受注拡大に注力してまいりました。

新規事業への取組みとしては、本年6月30日、医化学創薬㈱との共同研究開発契約をさらに戦略的に発展させるため、同社と資本業務提携契約を締結いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高306,617千円(前年同期比10.0%増)、営業損失102,125千円(前年同期98,609千円)、経常損失102,851千円(前年同期103,895千円)となりました。また、前期連結決算の黒字化を受けて繰延税金資産を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は73,442千円(前年同期100,417千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① ジェノミクス事業

当事業では、遺伝子破壊マウスの作製受託、モデルマウスの販売、及び抗体作製受託、新規バイオマーカーの開発などを行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は、期首スタート時点での受注残高不足(前年同期比マイナス)により65,118千円(前年同期83,166千円)、営業損失は3,056千円(前年同期は営業利益5,623千円)と減収赤字となりました。なお、当第1四半期受注高につきましては、前年同期間を上回って推移しており、今後は、予算達成に向けて受注及び売上拡大に取り組んでまいります。

② CRO事業

積極的な営業・受注活動により、当第1四半期連結累計期間の売上高は85,354千円(前年同期60,403千円)と大幅増収となりましたが、獲得した受注高・受注残高に対応するための人員増等に伴う固定費増加により、営業損失につきましては39,464千円(前年同期37,766千円)となりました。なお、当第2四半期以降の売上となる受注残高につきましては、当第1四半期末時点で337,429千円(前年同期228,360千円)と拡大傾向を維持しております。引き続き、受注強化に努め、通期黒字幅の拡大を目指してまいります。

※CRO事業 : Contract Research Organization 医薬品開発業務受託機関

③ 先端医療事業

当事業では、遺伝子解析受託サービス、個別化医療に向けた創薬支援サービスを行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高については、57,265千円(前年同期40,368千円)と増収となりましたが、当部門の売上は下期偏重型であること、また、未だ個人向け遺伝子解析サービスについては損益分岐点を大きく下回る操業度で推移したことを受けて、営業損益につきましては営業損失20,593千円(前年同期27,024千円)となりました。今後は、成長分野と位置付ける個別化医療に向けた創薬支援サービスの受注に注力し、業績拡大を図ります。

④ 病理診断事業

当事業は㈱ジェネティックラボの中核事業であり、病理専門医による豊富な診断実績及び最新のバイオマーカー解析技術による高品質な病理診断サービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は、受託検体数の増加により99,921千円(前年同期96,530千円)、営業利益は10,236千円(前年同期6,233千円)と計画を上回る増収増益となりました。今後も、引き続き、受託検体数の増加及びサービスの拡充に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,686,028千円となり、前連結会計年度末に比べ248,098千円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が250,113千円減少したことによるものであります。固定資産は1,653,505千円となり、前連結会計年度末に比べ13,846千円増加いたしました。これは主に有形固定資産の「その他」が26,884千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は327,832千円となり、前連結会計年度末に比べ95,833千円減少いたしました。これは主に未払金、未払法人税等、その他流動負債がそれぞれ57,012千円、17,491千円、13,928千円減少したことによるものであります。固定負債は310,645千円となり前連結会計年度末に比べ62,186千円減少いたしました。これは主に長期未払金が57,805千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,701,056千円となり、前連結会計年度末に比べ76,231千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失73,442千円の計上、及び取得・消却が主な要因である新株予約権の減少5,875千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの売上高は季節的変動が著しく、下半期に売上が集中する傾向にあります。当第1四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移し、受注も順調に獲得しております。

以上により、現時点におきましては平成27年5月14日に公表いたしました平成28年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	946,185	853,535
受取手形及び売掛金	451,395	201,282
有価証券	400,000	400,000
商品及び製品	1,258	2,447
仕掛品	45,221	100,398
原材料及び貯蔵品	34,830	29,619
その他	55,702	98,978
貸倒引当金	△468	△233
流動資産合計	1,934,126	1,686,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	966,593	968,788
減価償却累計額	△273,324	△282,198
建物及び構築物(純額)	693,269	686,590
土地	621,290	621,290
その他	466,922	499,288
減価償却累計額	△374,525	△380,006
その他(純額)	92,397	119,282
有形固定資産合計	1,406,956	1,427,162
無形固定資産		
のれん	193,367	184,078
その他	6,538	6,116
無形固定資産合計	199,905	190,195
投資その他の資産		
投資その他の資産	35,146	38,388
貸倒引当金	△2,350	△2,240
投資その他の資産合計	32,796	36,148
固定資産合計	1,639,658	1,653,505
資産合計	3,573,785	3,339,533

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,559	907
未払金	206,414	149,402
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払法人税等	20,952	3,460
賞与引当金	8,642	2,048
受注損失引当金	472	1,318
その他	134,624	120,696
流動負債合計	423,666	327,832
固定負債		
長期末払金	346,830	289,025
その他	26,001	21,620
固定負債合計	372,831	310,645
負債合計	796,498	638,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,550,604	2,552,048
資本剰余金	298,653	300,097
利益剰余金	△82,792	△156,235
自己株式	△1,725	△1,725
株主資本合計	2,764,739	2,694,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103	301
その他の包括利益累計額合計	103	301
新株予約権	12,443	6,568
純資産合計	2,777,287	2,701,056
負債純資産合計	3,573,785	3,339,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	278,624	306,617
売上原価	220,170	250,191
売上総利益	58,453	56,425
販売費及び一般管理費	157,063	158,551
営業損失(△)	△98,609	△102,125
営業外収益		
受取利息	318	172
持分法による投資利益	167	—
その他	486	408
営業外収益合計	972	581
営業外費用		
支払利息	604	545
持分法による投資損失	—	55
訴訟関連費用	4,400	—
その他	1,253	707
営業外費用合計	6,258	1,308
経常損失(△)	△103,895	△102,851
税金等調整前四半期純損失(△)	△103,895	△102,851
法人税、住民税及び事業税	1,769	1,200
法人税等調整額	—	△30,609
法人税等合計	1,769	△29,408
四半期純損失(△)	△105,664	△73,442
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,247	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△100,417	△73,442

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△105,664	△73,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	198
その他の包括利益合計	2	198
四半期包括利益	△105,662	△73,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△100,415	△73,244
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,247	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジェノミクス 事業	CRO事業	先端医療事業	病理診断事業			
売上高							
外部顧客への売上高	83,158	58,566	40,368	96,530	278,624	—	278,624
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	1,836	—	—	1,845	△1,845	—
計	83,166	60,403	40,368	96,530	280,469	△1,845	278,624
セグメント利益又は損失 (△)	5,623	△37,766	△27,024	6,233	△52,934	△45,674	△98,609

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジェノミクス 事業	CRO事業	先端医療事業	病理診断事業			
売上高							
外部顧客への売上高	65,118	84,952	56,625	99,921	306,617	—	306,617
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	402	640	—	1,042	△1,042	—
計	65,118	85,354	57,265	99,921	307,659	△1,042	306,617
セグメント利益又は損失 (△)	△3,056	△39,464	△20,593	10,236	△52,878	△49,247	△102,125

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループ内での経営管理区分の見直しを行った結果、従来、「先端医療事業」に含めておりました抗体試薬事業を「ジェノミクス事業」の区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。